



沖縄地区税関 管内貿易概況(速報)

令和6年6月分

(増減・伸率は対前年同月比)

●今月のポイント

●輸出

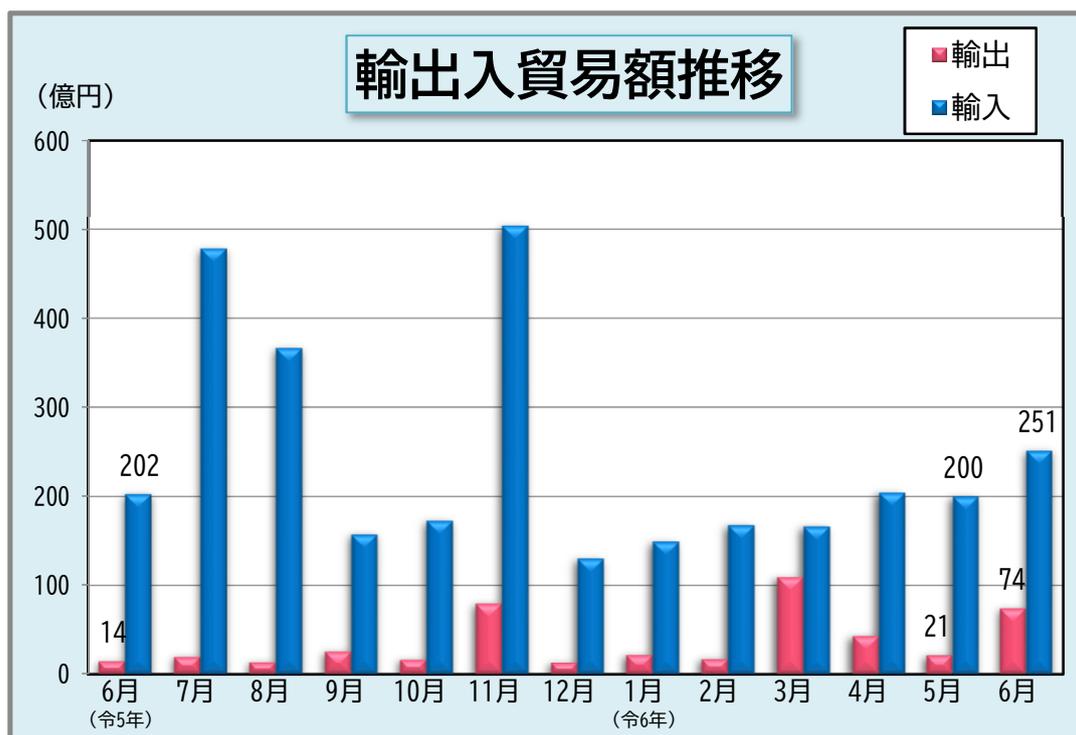
- ・輸出総額は73億84百万円、対前年同月比5.2倍(2ヵ月連続の増加)
- ・主な増加品目は「石油製品」(全増)、「一般機械」(3.9倍)、「金属鉱及びくず」(93.1%)
(主な減少品目は「肉類及び同調製品」(▲50.6%)、「その他の雑製品」(▲89.8%)、「衣類及び同附属品」(▲73.4%))
- ・国(地域)別構成比はオーストラリア(65.3%)、台湾(8.7%)、ベトナム(8.0%)、アメリカ(3.6%)、韓国(3.2%)

●輸入

- ・輸入総額は250億91百万円、対前年同月比24.2%増(2ヵ月連続の増加)
- ・主な増加品目は「天然ガス及び製造ガス」(全増)、「再輸入品」(48.4倍)、「一般機械」(3.2倍)
(主な減少品目は「石炭」(▲79.8%)、「石油製品」(▲11.6%)、「穀物及び同調製品」(▲54.4%))
- ・国(地域)別構成比はオーストラリア(26.7%)、台湾(11.1%)、インドネシア(9.9%)、韓国(9.9%)、アメリカ(7.8%)

●差引

- ・差引額は177億7百万円の入超(前年同月は187億66百万円の入超)



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	石油製品 （46億11百万円、全増）	62.5%	オーストラリア（46億11百万円、全増）
2	金属鉱及びくず （7億70百万円、93.1%）	10.4%	ベトナム（5億7百万円、全増） 台湾（98百万円、▲36.7%）
3	一般機械 （7億49百万円、3.9倍）	10.1%	オーストラリア（1億58百万円、6.1倍） シンガポール（1億47百万円、73.5倍）
4	再輸出品 （2億76百万円、2.2倍）	3.7%	アメリカ（1億80百万円、2.0倍） 台湾（59百万円、全増）
5	飲料 （2億47百万円、40.3%）	3.3%	韓国（71百万円、8.8倍） 台湾（62百万円、17.1%）
増加品目（増加額・伸率）		主な増加国（地域）	
1 石油製品（+46億11百万円、全増）		オーストラリア	
2 一般機械（+5億58百万円、3.9倍）		シンガポール、オーストラリア	
3 金属鉱及びくず（+3億71百万円、93.1%）		ベトナム、マレーシア	
減少品目（減少額・伸率）		主な減少国（地域）	
1 肉類及び同調製品（▲58百万円、▲50.6%）		シンガポール、香港	
2 その他の雑製品（▲37百万円、▲89.8%）		アメリカ	
3 衣類及び同附属品（▲6百万円、▲73.4%）		-	

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 オーストラリア （48億20百万円、86.9倍）	65.3%	石油製品（46億11百万円、全増） 一般機械（1億58百万円、6.1倍）
2 台湾 （6億39百万円、75.6%）	8.7%	パルプ及び古紙（1億60百万円、82.4%） 一般機械（1億36百万円、4.6倍）
3 ベトナム （5億91百万円、20.4倍）	8.0%	金属鉱及びくず（5億7百万円、全増） 一般機械（54百万円、39.5倍）
4 アメリカ （2億65百万円、44.6%）	3.6%	再輸出品（1億80百万円、2.0倍） 一般機械（52百万円、全増）
5 韓国 （2億34百万円、▲11.2%）	3.2%	金属鉱及びくず（96百万円、▲53.6%） 飲料（71百万円、8.8倍）

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650

